



けいせん

「キリスト、ベツレヘムに生まれたもうこと千度におおぶとも、キリスト汝がうちに生まれたまわすは、汝がたましいは、なおうちおてられてあり。」

(宗教詩人 アンゲルス・シレジウス)

12月後半は過ぎ、イエス様のお誕生をお祝いする大切なクリスマスが近づいてきました。ドキドキワクワクするようないい気持ちと同時に、心をさわがせている自分に気がきます。教師師としては、子どもたちの思いを受けとめようと努めているのに、わが子にはお世じさの中でゆくりかわってあげられず、寝顔を見て心が痛くなったり、思いがけない出来事にどう対応すべきかわからず「心がざわざわしたり、相手の気持ちも自分の気持ちも大事にしなから思いを伝えるにはどうすればいいか」心を(頭も)フル回転させてたり...

そんな日々、ふとシレジウスの言葉が浮かんできました。クリスマスが近くなると毎年思い出すこの言葉が今年はずっと心に響いてきます。「こんなおれだから、イエス様に来ていただくかなければならぬんだ！」心をさわがせているおれの心にイエス様をお迎えして、「やさしいあたまのいい気持ちで過せませうに」と祈らずにはおられません。

今年は、震災においてたくさんの方々が悲しみの中におられます。原発の事故によって、当たり前だと思っていた生活ができなくなってしまう方々、危険とわかっている場所で働いてくださっている方々がおられます。そして、その心に思いを寄せて、それぞれの場所でできることをしようとする一人ひとりがいます。日本中の、世界中の人が心を揺さぶられた一年となりました。そのお一人おひとりの心のうちは、イエス様が共にいてくださる、というクリスマスの喜びと平安が与えられますように。

もうすぐクリスマス。日常の生活に追われながらも、心を静かに整えつつクリスマスを待つ日々をすごしたいと思っています。明日からの冬休み、どうぞお休みに気をつけて、のんびりあたまのいいクリスマス・新年を、ご家族でおすごしください。(お母様方にとってはお忙しい年末年始でしょう。どうか少しでも思いをめぐらせながら、ホッと一息つける時間を見つけてくださいね。)